

アクセスのご案内

http://www.atomi.ac.jp/daigaku/about_access/stations_m.html

跡見学園女子大学 文京キャンパス

東京都文京区大塚1丁目5-2



【交通機関・アクセス】

東京メトロ

地下鉄丸ノ内線 茗荷谷駅 徒歩2分
地下鉄有楽町線 護国寺駅 徒歩8分

※春日通りの「跡見学園正門」からは通り抜けができません。大学門又は西門から入校してください。

キャンパス内案内図



【会場案内】

跡見学園女子大学 文京キャンパス
年次大会・総会会場 4日 2号館6階 自由論発表 5日 2号館6階
懇親会 4日 2号館9階 公開講演会 5日 2号館1階



2010年度 第5回 21世紀社会デザイン研究学会 年次大会プログラム

統一テーマ
「自然と共生する社会デザイン」

開催日

2010年12月4日(土) 13:15~17:45 (受付開始12:30)
2010年12月5日(日) 10:00~16:30 (受付開始 9:30)

会場

跡見学園女子大学 文京キャンパス 2号館

【大会参加費】

一般会員：2,000円 院生・学生・立教セカンドステージ大学受講生：2,000円 非会員：3,000円
当日、受付にてお支払下さい。

【懇親会費】

3,000円
当日、受付にてお支払下さい。

【昼食】

各自でお取り下さい。(学内食堂はお休みです)
ご持参の昼食をおとりいただく会場として2号館6階 (M2609)、および1階食堂を用意しております。
12月5日(日)のみ1号館の売店は営業予定です。

【参加申込先】

第5回 21世紀社会デザイン研究学会 年次大会実行委員会
事前にお申し込みいただきますようお願い致します。
申込用紙は学会HPからダウンロードできます。URL：<http://www.socialdesign-academy.org/>

【申込先】

第5回 21世紀社会デザイン研究学会
年次大会実行委員会

〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科委員長室 気付
21世紀社会デザイン研究学会事務局内
FAX：03-3985-2181

E-mail：info@socialdesign-academy.org
21世紀社会デザイン研究学会URL：<http://www.socialdesign-academy.org/>
※事務局スタッフは非常勤のため、ご連絡などはFAXかE-mailをお願い致します。



Japanese Academy of Social Design Studies for 21st Century
21世紀社会デザイン研究学会

2010年度 第5回 21世紀社会デザイン研究学会 年次大会プログラム

統一テーマ：「自然と共生する社会デザイン」

基調講演・パネルディスカッション他

12月4日(土) 13:15~17:45 (受付開始12:30)

テーマ	自然と共生する社会デザイン
会場	跡見学園女子大学 文京キャンパス 2号館 6階 M2605
13:15~	開会挨拶：北山 晴一 (21世紀社会デザイン研究学会 会長)
13:30~14:20	基調講演：内山 節 (立教大学 教授)
14:30~17:00	パネルディスカッション [コーディネーター] 宮崎 正浩 (跡見学園女子大学 教授) [パネリスト] 内山 節 (立教大学 教授) 村上 千里 (認定NPO法人「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議ESD-J 理事) 甲斐 徹郎 (株)チームネット 代表取締役) 吉村 英子 (跡見学園女子大学 教授)
17:00~17:45	総会 (2号館6階M2605)
18:00~	懇親会 (2号館9階のホール)

公開講演会

主催：跡見学園女子大学サステナブルビジネス研究会 (ASBI)

共催：21世紀社会デザイン研究学会・跡見学園女子大学大学院マネジメント研究科

12月5日(日) 14:00~16:30 (受付開始13:30)

テーマ	自然との共生 — 都市から自然を考える
会場	跡見学園女子大学 文京キャンパス 2号館 1階 ブロッサムホール
講師	萩原なつ子 (立教大学 教授) 村上 雅巳 (跡見学園女子大学 准教授) 和田 慎一 (東京都環境局 自然環境部 緑環境課課長) 朝田くに子 (株式会社風土倶楽部 代表取締役) 那須 守 (清水建設株式会社 技術研究所 都市緑化グループ長)
コメンテーター	北山 晴一 (21世紀社会デザイン研究学会 会長)
コーディネーター	村田 あが (跡見学園女子大学 教授)

●公開講演会のみ参加は無料

【自由論題発表】 12月5日(日) 10:00~12:30 (受付開始 9:30) 会場：2号館6階 (分野別会場は下記の通りです)

発表分野	環境分野	企業活動&SR分野	社会・文化分野1	社会・文化分野2	危機管理分野	つながり分野
会場	M2601 (2号館6階)	M2602 (2号館6階)	M2606 (2号館6階)	M2607 (2号館6階)	M2603 (2号館6階)	M2608 (2号館6階)
司会	吉村英子 (跡見学園女子大学)	齋藤哲男 (立教大学大学院)	小野豊和 (東海大学)	菊野一雄 (跡見学園女子大学)	佐取 朗 (セコム株式会社 元顧問)	田川義博 (情報セキュリティ大学院大学)
コメンテーター	宮崎正浩 (跡見学園女子大学)	崔 勝溟 (跡見学園女子大学)	北山晴一 (21世紀社会デザイン研究学会 会長)	笠原清志 (立教大学)	川村仁弘 (立教大学)	中村陽一 (立教大学)
10:00~10:25	①「環境問題への意識の高まりと地域社会の重要性～国際会議の歴史的推移から～」 大瀬 浩子 (上智大学大学院生)	①「日本外食産業の変遷と経営課題—ファミリーレストラン業界の新たなコンセプト作りとあり方を中心に—」 李 美花 (立教大学)	①「アートプロジェクトにおけるソフトとハード—大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレを中心に—」 浅井 慧 (立教大学大学院生)	①「国際社会と日本における世界遺産の位置づけの変遷に関する考察」 木村 貴子 (早稲田大学大学院生)	①「三木政権における防衛政策—抑制的決定と三木の政治姿勢を中心に—」 真田 尚剛 (立教大学大学院生)	①「『全国友の会』創立の経緯と時代背景—『婦人之友』読者は、どのように組織化されたのか—」 小関 孝子 (立教大学大学院生)
10:25~10:50	②「日常の暮らしと水俣病をつなぐ視点—財団法人水俣病センター 相思社生活部の試み—」 稲垣 聖子 (立教大学大学院生)	②「ワーク・ライフ・バランスとCSR—企業と個人との新しい関係—」 小河原 直樹 (オラクルコーポレーション)	②「ドーピングする身体からの脱出は可能か」 石川 寛 (国際基督教大学社会科学研究所)	②「ツーリズムを通じた社会学的想像力喚起に関する考察」 高橋 薫 (立教大学大学院生)	②「社会から信頼される登録販売者を育てるための養成施設の必要性」 本間 篤 (東京未来大学 横浜医療秘書歯科助手専門学校)	②「ドイツの成人教育—メクレンブルク=フォアポメルン州の民衆大学を中心に—」 佐野 敦子 (立教大学大学院生)
10:50~11:15	③「三番瀬再生計画検討会議における合意形成プロセスに関する一考察」 嘉瀬井 恵子 (立教大学大学院生)	③「今日におけるNGOインターンシップ制度の本質的意義と新しい価値に関する研究」 桑山 奈々 (立教大学大学院生)	③「ポストモダンにおける「文化」と「自然」の問題について—主にジェンダーの観点から—」 梅原 宏司 (立教大学)		③「グローバル金融危機時の経済予測—予測誤差の原因を探る—」 山澤 成康 (跡見学園女子大学)	③「“ナラティブX映像”による地域のデザイン—デジタル・ストーリーテリングの可能性—」 小澤 真人 ((有)ラーニングビジョン) 高木 亮一 (金沢星稜大学)
11:15~11:40	④「中国の家庭のエネルギー消費と家電品普及状況についての日中比較」 馮 新玲 (早稲田大学大学院生)	④「寄付付き商品の内容の違いが購入に与える影響」 野村 尚克 (筑波大学大学院生)	④「リプロダクションをめぐる身体多様性についての一考察」 菊地 栄 (出産育児環境研究会)			④「モード化する先祖の事例報告」 山岡 三子 (立教大学大学院生)
11:40~12:05	⑤「廃プラスチックの中国への輸出増加要因と市場価格との連動に関する分析」 孟 祥鳳 (早稲田大学大学院生)	⑤「マイクロファイナンス機関評価の際の着眼点—KIVA、BRACウガンダ、CARD MRIに焦点をあてて—」 八木 正典 (外務省)				⑤「“ワーク・ライフ・ミュージック” 推進活動の研究—『はたらくミュージシャン協会』という実践事例を通して—」 西部 沙緒里 ((株)博報堂) 佐藤 達郎 (株博報堂DYメディアパートナーズ)